



悲しみの内なる豊かさを信じて

設立10周年  
記念講演会



死別の悲しみによりそうグリーフワークおきなわ

# さまざまな喪失をみすえて生きる

より広い視野から考えるグリーフ

小さな悲しみを抱えたままの私たち

ひろいあつめて見つめてみれば

自分らしいあらたな物語が動き出す



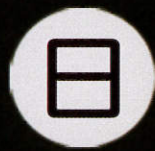
講師／鈴木剛子 (すずきよしこ)

国際基督教大学教養学部卒。グリーフ・カウンセリング・センター (GIC) 代表、グリーフ・カウンセラー、死生学・グリーフ学教育者。外資系企業役員を務めたが、夫との死別をきっかけに実業界を引退。カナダで死生学・グリーフ学を学び、帰国後、グリーフ学の普及とグリーフ・カウンセリング実施を目指しGIC設立。

※ グリーフワークとは、大切な人と死別して深い悲しみにある人がたどる心のプロセス・癒しの作業

2018

7月22日



10:00～12:20

開場:9:30 申し込み不要

参加費  
1000円

県立博物館・美術館3階講堂

連絡先：080-4316-0847 [griefokinawa@gmail.com](mailto:griefokinawa@gmail.com)

主催：グリーフワークおきなわ supported by りゅうぎんユイマール助成会



「グリーフワークおきなわ」グリーフケアを啓発し、悲しみや痛みをわかちあえる場として、2008年4月に設立した市民団体。大切な人を亡くした方が、深い悲しみに向き合いながらもその人らしく生きていくことができるよう願いつつ、共に学び、理解し、支え合っていくことを目的として活動している。